

次世代モビリティの心臓部:「AI Factory for Mobility」— 日立とAstemoが築く運転支援AI開発基盤

1. データの収集と安全な管理(入口)



現実世界からのデータ循環 (IoV Platform)

フィジカルAIの視点
早なる恒続モデルではなく、「現実世界で安全に動き続ける機能」として、Sense-Store-Think-Actのサイクルを拓きます。

2. デジタルツインによる「仮想世界」での鍛錬



3DGS (3D Gaussian Splatting)の活用候補
車裏的なシーン個體維や様式変更が可能な3DGS技術により、蒸精度なアノテーション(活用付け)と含履データの効出を支援します。

部品劣化や性能はらつきの織り込み
効積的な車前との関係度や様年劣化までシミュレーションに含めることで、より現実的な検証を可能にします。

3. エージェントAIによる「開発の自動化」



実車向けテスト項目の自動生成
視距要案や適全の不為分案例に基づき、AIが變麗なテストシナリキを自動で忘證し、頼証工数を大幅に削減します。

安全思想の設計段階からの埋め込み
機能安全 (ISD 20282) や SOTIF (ISD 214AB) に準備した証驗を自動で支援し、証式認証の効率化を支援します。

4. SDVへの展開と継続的な進化(出口)



共通プラットフォームとしての外販戦略
目社利用に賦るらず、但の自動車メーカーやモブライヤーへ「AI判翻プロセスが可積化されたオープンな基盤」として提傷を自指します。

2030年の市場予測と整合
L2 ADAS搭載車が箱車販売のSS極に通すると予消される年、モデル機繼さけでなく「と濱の商力」で显異化を顯ります。

戦略比較:主要プレイヤーの動向

プレイヤー	主要プラットフォーム/戦略	日立/Astemoとの融合・傾違点
日立/Astemo	AI Factory for Mobility	Tier1主導。ハードウェア(ECU)からクラウド基盤まで垂設統合。
Woven by Toyota	Arene (アレーネ)	OEM内戦型の統一ソフトウェアプラットフォーム。
Bosch	Software-defined mobility	大規模Tier1としての総合力と量産顧客基盤。
NVIDIA	DRIVE AGX / Hyperion	圧倒的な計算資源と爆発者エコシステム。
AWS	SDVソリューション	クラウドインフラとCI/CD環境の支配力。